
小山町観光振興計画

(2015～2020)

平成27年 3月

小山町

目次

第1章 観光振興計画について	1
1 観光振興計画策定の趣旨	1
2 計画策定の基本的な考え方.....	1
3 計画期間	2
第2章 小山町観光の現状と課題	3
1 富士山世界文化遺産登録を契機とした誘客.....	3
2 金太郎生誕の地としてのプロモーション	3
3 訪日外国人旅行者への対応.....	3
4 観光に対する住民意識の醸成	4
5 地域資源の掘り起こしと着地型観光の推進.....	4
6 観光を支える交通基盤の整備・活用.....	4
7 広域で連携した観光推進	4
8 フィルムコミッション機能の継続と展開	4
9 スポーツ・ツーリズムへの展開.....	5
第3章 基本構想	6
1 基本目標	6
2 基本方針	7
3 体系図.....	8
第4章 基本計画	10
基本方針1 富士山交流観光プログラム.....	10
基本方針2 元気にぎわい観光プログラム.....	16
基本方針3 観光インフラ整備プログラム.....	23
第5章 計画推進について	27
1 基本的な考え方.....	27
2 推進体制	28
3 プログラム.....	29

第1章 観光振興計画について

1 観光振興計画策定の趣旨

- ・観光立国を掲げる国の政策の下、多くの市町村で観光振興に向けた取り組みがなされており、本町においても、首都圏に近い優位性を活かし、町内及び富士山周辺地域と連携した観光振興に取り組むことが必要と考えます。
- ・本町を取り巻く状況は、少子高齢化などによる人口減少や商業機能低下などにより地域の活力が衰退していることなどから、厳しい状況が続いています。一方、富士山の世界文化遺産登録をはじめ、2つの道の駅の整備、将来的には東名高速道路足柄サービスエリア(以下、足柄SA)へのスマートインターチェンジ(以下、SIC)の設置や、新東名高速道路の開通、(仮称)小山パーキングエリア(以下、小山PA)へのSIC開設など、地域活性化のきっかけとなる要素があります。
- ・本町では、町民が将来にわたって希望と誇りをもち、また、来訪者とも満足感を共有しあえる町づくりに取り組んでいくため、行政や観光業者だけではなく町民全体が主役となる観光の推進を目指して、平成25年3月に小山町観光振興条例を定めました。「小山町観光振興計画」は、この条例に基づいた計画であり、多くの町民や事業者の協力と理解を得ながら、幅広い視点で本町の活性化を捉えて、今後の観光振興の基本的な取り組みをとりまとめたものです。

2 計画策定の基本的な考え方

(1) 観光振興条例に基づく

観光振興の実現に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、小山町観光振興条例(第8条第1項)に定める計画です。

(2) 総合計画をひまえる

第4次小山町総合計画(前期基本計画:平成23~27年度)を上位とした計画です。

(3) 幅広い分野の「交流」の要素をもつ

「観光」として捉えていく分野が、ビジネスでの来訪者やスポーツイベントの参加者など「交流」の要素を含む幅広い分野として定着しつつあることから、計画に記載する分野も幅広いものとなっています。

(4) 広域的な視点をもつ

富士山を取り巻く市町村や箱根方面など、広域的な取り組みが重要視されていることから、計画内容にも広域的視点を反映しています。

(5) 協働で取り組む

観光振興の推進に際して、行政、観光協会、商工会、団体・NPO、観光関連事業者、住民などがそれぞれの役割を担いながら、目標を共有し、共に力を合わせていく協働の取組みを示した計画です。

(6) 計画指標をもつ

観光交流客数を指標とし、目標値を設定した計画とします。

※観光交流客数(観光施設・各種イベントへの入込数、宿泊人数の計)

3 計画期間

平成 27 年度～平成 32 年度(6ヶ年計画)

第2章 小山町観光の現状と課題

1 富士山世界文化遺産登録を契機とした誘客

- ・富士山がユネスコの世界文化遺産に登録されました。これをきっかけに外国人の来訪者が増えており、国内外あわせ年間4万人前後の登山客が訪れています。
- ・しかしながら、富士登山の拠点となる須走口五合目において駐車場から登山口へのアプローチの難儀さ、待避所の不足、バスと歩行者の動線の交差等の問題があり改善する必要があります。
- ・さらに、多言語対応の情報提供が不十分です。
- ・また、小富士等への散策路については、安全と環境保全の視点に立った整備をする必要があります。
- ・今後は、須走口五合目の再整備を進め、利便性の高い登山口としてPRする必要があります。

2 金太郎生誕の地としてのプロモーション

- ・本町は「金太郎生誕の地」ではありますが、他地域においての認知度は必ずしも高いものではありません。しかしながら、自治体のイメージとしての金太郎の役割は大きく、プロモーションへの活用は有効です。今後とも様々なアプローチを模索しながら本町のシンボルとして「金太郎生誕の地おやま」をPRします。また、金太郎生誕の地の象徴である金時公園を再整備する必要があります。
- ・現在、富士山金太郎まつりの実施や金太郎シンボルデザインの商標登録、着ぐるみを活用するなど金太郎を活用したPRに努めています。
- ・今後は、金太郎シンボルデザインを様々な分野で活用するなど、「金太郎といえば小山町」のイメージを高めていく必要があります。

3 訪日外国人旅行者への対応

- ・東日本大震災による訪日減少にも歯止めがかかり、富士山世界文化遺産登録の効果もあって、外国人旅行者は、徐々に増えつつあります。しかし、町内では宿泊のみの滞在がほとんどであるため、町内にどう周遊させ、消費活動につなげるかが課題です。
- ・平成25年度の小山町内での外国人宿泊者数は、約88,000人(台湾約52,000人、タイ約23,000人、中国約8,000人など ※観光庁実施の「宿泊旅行統計調査」調査票情報より)であり、これは県内において、浜松市に次ぐ人数で、特に台湾・タイからの宿泊者数は県内トップです。しかし、外国語表記や翻訳において十分な対応ができているとはいえない状況にあります。
- ・今後は、標識やパンフレットの表記、接客対応などについて、複数の外国語によるサービスやWi-Fi環境整備の必要があります。

4 観光に対する住民意識の醸成

- ・「観光とは、訪れる人達との交流の中で地域色豊かな資源を公開、保存、継承しながら、地場産業を育て、愛郷心を高めるもの」です。
- ・観光を手段とした地域活性の取組みを拡げていくことが肝心です。
- ・今後は、観光交流に関わる方はもとより、多くの住民に観光に関心をもってもらい、来訪者に温かな「おもてなし」の心を持って対応していただくような町民意識の醸成が必要になってきます。

5 地域資源の掘り起こしと着地型観光の推進

- ・町内には、水や緑の豊かな環境や、歴史文化に彩られた郷土、四季折々の風景など、地元の人でも気づいていないような身近な資源が潜在しています。
- ・今後は、この隠れた資源に注目して掘り起こしを行い、観光の魅力として発信し集客につなげていく着地型観光の取組みを強化していく必要があります。
- ・また、この地域ならではのプレミアムなプログラムを企画し、充実することが望まれます。

6 観光を支える交通基盤の整備・活用

- ・本町には、2つの道の駅が整備され、年間を通じて多くの来訪者が利用しています。
- ・観光を支える交通基盤として、東名足柄SAへのSIC設置が予定されています。また、新東名高速道路の整備にともなって、小山PA及びSICの開設も予定されています。さらに、国道138号須走道路・御殿場バイパスの整備が進められており、高速交通基盤が充実されます。
- ・今後は、関係機関との協力により、こうした基盤整備の円滑な推進を図るとともに、これを十分に活かす観光振興施策を進めていく必要があります。

7 広域で連携した観光推進

- ・来訪者へのアンケート調査やツアーバスの運行ルートデータによると、山梨県や神奈川県などの観光地とあわせて旅行をしている方が多く、富士山周辺の広域的な魅力が首都圏をはじめとする広い圏域からの誘客につながっていることは明らかです。
- ・今後とも、富士山周辺自治体との連携を強化し、広域を意識した観光施策の展開が必要です。

8 フィルムコミッション機能の継続と展開

- ・町が支援するロケは、年間100件を超える規模となっており、地域経済に一定の効果を与えています。
- ・一方、現在は町が担当職員を配置していますが、将来的には、民間組織による運営が求められます。
- ・今後は、民間組織の設立を促しながら、観光資源としてロケ地を活用した観光誘客につなげる取組みが必要となります。

9 スポーツ・ツーリズムへの展開

- ・スポーツを通じて交流人口を増やしていく観光のあり方が注目され、近隣の自治体においてもスポーツ施設の整備や宿泊機能の向上などの取組みが進められております。本町においても夏季を中心に合宿などの需要があります。
- ・豊かな景観や起伏の多い地形を目指すサイクリストの来訪が多くなっています。また、富士スピードウェイやふじあざみラインを利用した自転車大会が開催されています。
- ・今後は、周辺自治体との連携を取り入れながら、地域の資源を活かしたスポーツ・ツーリズムを展開していく必要があります。
- ・年間 60 万人が訪れる富士スピードウェイから町への周遊及び消費活動へとつなげる取組みが必要です。
- ・町内に 11ヶ所あるゴルフ場を活用し、外国人観光客に向けたゴルフツアーの企画や、大人数で利用できるゴルフ場レストランを観光ツアーで利用してもらう等、新たな取組みが必要です。
- ・増加傾向にあるトレッキング客に対し、富士山トレイルの魅力をもっとPRしつつ、標識やトイレを整備し、人気のあるトレイルコースに成長させる必要があります。

第3章 基本構想

1. 基本目標

約 430 万人（平成 25 年度） ⇒ 500 万人（平成 32 年度）

“小山町へおいで！ 世界から” 観光交流 500 万人プログラム

平成 25 年 6 月 26 日、「富士山－信仰の対象と芸術の源泉」が正式に世界文化遺産に登録されました。これにより、富士山の注目度はこれまで以上に高まっており、富士山周辺の地域では、国内外から観光客が増加しています。本町においても須走口登山道と富士浅間神社の2つが構成資産として登録されました。これを町全体の観光振興につなげていくことが重要です。

また、本町は富士山だけでなく「金太郎生誕の地」として金太郎にゆかりのある場所が多くあり、その他にも、豊門会館や足柄城址といった文化財や史跡が多くあります。また、富士スピードウェイなどの大型施設、地場製品の販売や富士山景観により人気のある道の駅（ふじおやま、すばしり）、温泉、ゴルフ場など、本町は観光資源に恵まれている町です。

さらに、2020 年（平成 32 年）には、新東名高速道路の開通や小山PAとSICの開設、足柄SAのSIC設置など、高速交通基盤の整備も進んでおり、首都圏からのアクセスが向上します。また東京では、夏季オリンピック・パラリンピックが開催され、世界中から多くの方が日本を訪れます。

これらをチャンスととらえ、本計画では 2020 年度（平成 32 年度）に本町への観光交流客数を 500 万人にすることを目標とします。



※平成 25 年の観光交流客数（約 430 万人）の内訳は、概ね宿泊 12 万人、ゴルフ場 44 万人、イベント 2 万人、観光施設 372 万人ですが、観光交流客数の過半が2つの道の駅の集客であることが特徴です。観光交流客数の目標値 500 万人の実現に向けて、宿泊 15 万人、ゴルフ場 47 万人、イベント 3 万人、観光施設 435 万人の誘客を想定しています。

2. 基本方針

(1) 富士山交流観光プログラム

世界文化遺産に登録された富士山の文化、水と緑に恵まれた自然、抜群の景観を小山町のすばらしい観光資源として活用し、観光交流客数を増やします。

(2) 元気にぎわい観光プログラム

金太郎のように元気でにぎわいのあるまちを目指し、自然や歴史、文化、施設など様々な観光資源を活用し、観光交流客数を増やします。

(3) 観光インフラ整備プログラム

町の観光資源の魅力を最大限引き出すために、情報・交通基盤の整備や広域連携の推進、観光客の受け入れ態勢の充実などの観光インフラの整備を行います。

約 430 万人（平成 25 年度） ⇒ 500 万人（平成 32 年度）

3. 体系図

基本方針 1

富士山交流観光 プログラム

- 施策 1 須走口五合目を再整備します
- 施策 2 登山者などへの対応を充実します
- 施策 3 須走口五合目散策コース・富士箱根トレイルを活用します
- 施策 4 富士山の眺望スポットを整備します
- 施策 5 富士浅間神社の魅力を高めます
- 施策 6 富士山の環境保全を観光振興につなげます
- 施策 7 美化活動を進めます

基本方針 2

元気にぎわい 観光プログラム

- 施策 1 金太郎をシンボルとした観光活性を図ります
- 施策 2 スポーツによる誘客を進めます
- 施策 3 農のある暮らしをにぎわいに活かします
- 施策 4 自転車による観光振興を進めます
- 施策 5 自衛隊との連携による観光振興を進めます
- 施策 6 観光拠点を活用します
- 施策 7 新たな観光スポットを整備します
- 施策 8 ハイキングコースを活用します
- 施策 9 ロケ地としての強みを活かし知名度を高めます

基本方針 3

観光インフラ 整備プログラム

- 施策 1 シティプロモーションの充実を図ります
- 施策 2 おもてなし人材による着地型観光を充実します
- 施策 3 インバウンドへの対応を強化します
- 施策 4 観光情報の基盤を整えます
- 施策 5 観光交通基盤を整備・活用します
- 施策 6 広域連携を推進します
- 施策 7 小山町ブランドの充実を図ります

“小山町へおいで！世界から” 観光交流500万人プログラム

■(仮称)富士山須走ロビジターセンターの設置 ■駐車場の整備 ■整備計画の推進
■ふじあざみラインの道路改良の推進

■登山案内及び指導の強化 ■登山装備サービスの提供 ■世界遺産案内板の設置
■須走ルートの魅力の紹介 ■須走流登山スタイルの確立

■案内板の設置 ■散策ツアーの開催 ■富士箱根トレイルの管理
■コースの魅力の情報発信 ■ガイド付き散策ツアーの開催 ■来訪時期や所要時間によるコース設定

■富士山眺望スポットの充実 ■案内看板の整備・案内マップの作成

■須走地区を富士山観光の拠点としたまちづくり ■住民参加による観光地づくり
■富士浅間神社へのツアー誘客の強化 ■ボランティアガイドによる案内 ■富士浅間神社のPR

■景観条例の制定 ■富士山と調和する景観づくり ■富士山における環境学習の場の提供
■マイカー規制の実施 ■富士山環境ツアーの開催

■富士山清掃の実施 ■登山者マナーの向上

■金太郎シンボルデザインを活用したPR ■金太郎商品のブランド化 ■金時公園の活用
■金太郎を活用した広域連携の推進 ■相撲大会の開催 ■金太郎伝説ゆかりの地のPR・紹介

■スポーツ大会などの誘致・拡充 ■合宿などの誘致 ■富士スピードウェイとの連携

■農産物直売所の整備 ■農家民泊の試み ■農業体験の推進 ■林業体験の推進

■自転車大会の拡充 ■新たな自転車大会の開催 ■「サイクリストにやさしいまちづくり」の推進

■自衛隊イベントを通じた町のPR ■町内イベント等への参加依頼

■道の駅の活用 ■あしがら温泉等の活用 ■豊門公園等の活用

■ホテルの里づくり ■北郷の森の整備 ■リゾート宿泊機能の誘致 ■産業観光の提供

■足柄古道などの活用 ■市町村連携によるハイキングコースの活用 ■(仮称)おやま物語100選の作成・散策

■ロケ地の発掘・整備と活用 ■映画祭の開催 ■ロケの誘致 ■民間組織の設立支援

■旅行会社への観光資源の紹介 ■首都圏などで開催される展示会への参加

■観光ガイドの育成 ■次世代を担う人材の育成 ■小山町観光検定の実施 ■小山町観光親善大使の認定

■プログラムの開発 ■外国人観光客へのおもてなしの充実 ■外国語表記の充実
■東京オリンピック・パラリンピックに向けた環境整備

■総合的な観光情報の集約・管理 ■Wi-Fiスポットの整備 ■ネット予約・決済環境の整備促進

■季節運行バスの利便性向上 ■小山PA / 足柄SA周辺の整備 ■ユニバーサルデザイン化の推進

■広域ネットワークによる取り組みの推進 ■金太郎にちなんだ交流の活性化

■“小山町”をエリアとしてアピール・ブランド化 ■道の駅・足柄SA・小山PAにおける販売促進・PR
■特徴ある商品を育成 ■インターネットを活用した販売促進 ■ロケ地を活用した特産品の販売促進
■ご当地グルメの開発

第4章 基本計画

基本方針1

富士山交流観光プログラム

施策1 須走口五合目を再整備します

■（仮称）富士山須走口ビジターセンターの設置

- ・須走口五合目にある案内所の機能を見直し、登山者の避難や休憩、登山情報、一年間の富士山の姿の紹介、周辺の観光案内、バス案内などの機能をもつ施設の設置を進めます。

■駐車場の整備

- ・須走口五合目の駐車場の再整備を進めます。
- ・駐車場から登山口へのアプローチの改善を進めます。



須走口五合目駐車場

■整備計画の推進

- ・須走口五合目再整備計画(平成24年度)を踏まえた整備を進めます。整備に際しては、周辺環境に十分に配慮し、関係機関と連携して進めます。

■ふじあざみラインの道路改良の推進

- ・ふじあざみラインにおいて、大型観光バスの通行困難箇所の道路改良を推進します。

施策2 登山者などへの対応を充実します

■登山案内及び指導の強化

- ・登山道や気象情報など、登山に必要な情報を提供するため、Wi-Fi環境の整備を行います。
- ・安全な登山に向けた指導・啓発を実施します。

■登山装備サービスの提供

- ・登山者に対して、登山装備の販売、レンタルなどのサービスを提供します。

■世界遺産案内板の設置

- ・世界遺産の構成資産である登山道(須走ルート)を紹介する案内板を設置します。

■須走ルートの魅力の紹介

- ・須走ルートは、東側に位置していることから、どこからでも御来光が見られ、森林限界が高く植生が豊かであり、砂走りがあるなど、魅力にあふれています。登山ガイドやパンフレット、標識などを通じてこれらの魅力を発信します。

■須走流登山スタイルの確立

- ・富士山信仰の歴史的・文化的な価値を後世に伝える富士浅間神社を参拝してから富士山に登る「須走流の登山スタイル」を情報発信します。

施策3 須走口五合目散策コース・富士箱根トレイルを活用します

■案内板の設置

- ・小富士やまぼろしの滝などを巡る散策路に案内板を設置し、来訪者を誘導します。

■散策ツアーの開催

- ・五合目来訪者を対象とした小富士やまぼろしの滝、シャクナゲなどを巡るガイドツアーを開催します。
- ・野鳥をはじめとした豊かな動植物を学ぶことのできる情報を整理し発信します。また、野鳥の会などの団体と協力して、観察ツアーなどを開催します。

■富士箱根トレイルの管理

- ・全長約43kmにわたる富士箱根トレイルの日常的な管理を継続するほか、トレイルの案内や管理に関わる団体、ボランティアの育成に取り組みます。

■コースの魅力の情報発信

- ・素晴らしい景観や、多様な植生を楽しみながら、安全に散策できるコースの魅力について、情報発信します。

■ガイド付き散策ツアーの開催

- ・サンショウバラやブナ林などのコースの魅力を学びながら散策できるガイド付きツアーを季節ごとに開催します。

■来訪時期や所要時間によるコース設定

- ・約 43kmにも及ぶ富士箱根トレイルを様々な方に楽しんでいただくため、距離の短いコースや季節の植物を楽しむことのできるコースなどを設定します。
- ・トレイルを活用した健康づくりのプログラムを提供します。



富士箱根トレイル

施策4 富士山の眺望スポットを整備します



足柄峠から望む富士山



駿河小山駅から望む富士山



道の駅すばしりから望む富士山



北郷地区の田畑と富士山

■富士山眺望スポットの充実

- ・富士山の眺望スポットを適切に維持管理し、多くの方に訪れていただく様に効果的に情報発信します。



誓いの丘

■案内看板の整備・案内マップの作成

- ・富士山の眺望スポットとなる地点を定め、駐車場や案内看板などのインフラ整備を進めるとともに、案内マップを作成します。

施策5 富士浅間神社の魅力を高めます



富士浅間神社



境内の湧水



■須走地区を富士山観光の拠点としたまちづくり

- ・富士浅間神社周辺の回遊性を高め、須走地区を富士山観光の拠点とします。

■住民参加による観光地づくり

- ・地域資源を活かした門前町の魅力づくりに向けて、ワークショップなどを通じ、住民との協働による検討を進めます。

■富士浅間神社へのツアー誘客の強化

- ・富士浅間神社の歴史などをテーマとした着地型旅行への誘客を強化するため、旅行会社などへのプロモーションを行います。



ウォーキング団体による参拝の様子

■ボランティアガイドによる案内

- ・富士浅間神社についての知識を持つ人材を育成し、ボランティアガイドによる案内サービスを行います。

■富士浅間神社のPR

- ・富士浅間神社や富士山信仰の歴史や文化を多くの方に知ってもらうために、SNSなどを活用した取り組みを行います。

施策6 富士山の環境保全を観光振興につなげます

■景観条例の制定

- ・富士山を中心とした町の景観を保全し、活用するための景観条例を制定します。

■富士山と調和する景観づくり

- ・須走口五合目の施設整備や道路整備に際して、周辺の景観との調和に配慮します。
- ・景観に配慮し、須走の門前地区の電線の地中化を推進します。

■富士山における環境学習の場の提供

- ・須走口の自然の豊かさなどを学べる機会を提供します。

■マイカー規制の実施

- ・マイカー規制を通して須走口の適正利用を推進するとともに、富士山の環境負荷の軽減に努めます。

■富士山環境ツアーの開催

- ・富士山に関する知識を深め、富士山を愛する心や環境保全の意識を育むことを目的とした富士山環境ツアーを開催します。

施策7 美化活動を進めます

■富士山清掃の実施

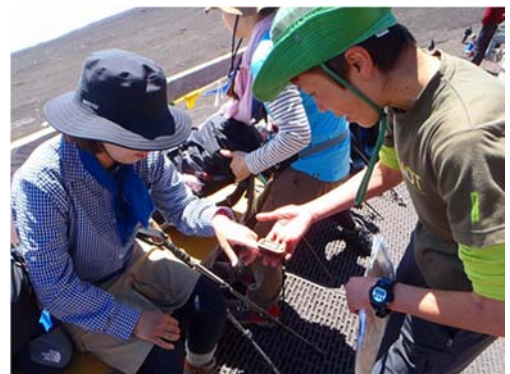
- ・富士山一斉清掃を行うとともに、環境美化の啓発に努めます。



富士山清掃活動の様子

■登山者マナーの向上

- ・富士山とその周辺の環境保全と安全な登山を促すため、登山者などに対し、パンフレットなどを活用した登山マナーの啓発に努めます。



登山ガイドによる啓発活動の様子

基本方針2

Ⅰ 元気にぎわい観光プログラム

施策1 金太郎をシンボルとした観光活性を図ります

■金太郎シンボルデザインを活用したPR

- ・町制 100 周年時に制定した金太郎シンボルデザインを公共の出版物や金太郎に関連する商品、報道映像のバックパネルなどへの掲出により、金太郎生誕の地である小山町をPRします。



金太郎生誕の地 おやま



金太郎シンボルデザイン

■金太郎商品のブランド化

- ・金太郎トマトや金太郎飴など金太郎に関連する商品をブランド化します。



金太郎を使った商品

■金時公園の活用

- ・ワークショップなどを通じて整備計画をまとめ、金時公園の再生に向けた取り組みを進めます。



金時公園

■金太郎を活用した広域連携の推進

- ・金太郎をPRしている神奈川県南足柄市などの周辺自治体や、JR東海や小田急電鉄などの事業者と連携し、金太郎をテーマとした列車の運行、イベント、商品開発、キャンペーンなどを実施します。

■相撲大会の開催

- ・昔話の中で、金太郎が熊と相撲を取っていたという逸話にちなみ、アマチュア相撲大会の誘致や、現在富士山金太郎春まつりでやっている子ども相撲大会の継続に取り組みます。

■金太郎伝説ゆかりの地のPR・紹介

- ・遊女の滝や沼子の池など、町内に残る金太郎伝説ゆかりの地を紹介するマップやインターネットサイトを充実させ、金太郎のシンボルである腹かけや鯉のぼりを観光やにぎわいづくりへ活用し、多くの方に「金太郎生誕の地おやま」をPRします。

施策2 スポーツによる誘客を進めます

■スポーツ大会などの誘致・拡充

- ・NPO法人小山町体育協会や民間事業者と協力して、スポーツ大会などの誘致・拡充を図ります。
- ・御殿場小山ゴルフ振興事業実行委員会と連携し、各種ゴルフ大会の開催誘致に努めます。

■合宿などの誘致

- ・富士山麓の環境の良さをPRすると共に、施設情報などの一元化により、合宿などの誘致を図ります。

■富士スピードウェイとの連携

- ・モータースポーツをはじめ、マラソン、自転車などのイベントに訪れる多くの方に対して、町内の温泉や観光資源をPRし、誘客につなげます。
- ・町を富士スピードウェイを中心としたモータースポーツのメッカとしていくために、町内の宿泊施設やモータースポーツに関連した施設の充実(観光地や観光施設での展示等も含める)を検討します。



世界耐久レース (WEC)



スーパーママチャリ GP

施策3 農のある暮らしをにぎわいに活かします

■農産物直売所の整備

- ・地元農作物の販売を拡大させるために、道の駅などの農産物直売所を充実させます。

■農家民泊の試み

- ・農業体験をしながら宿泊できる仕組みづくりを推進します。
- ・各種イベントと農家民泊の仕組みを結び付け、滞在型誘客の充実を図ります。

■農業体験の推進

- ・田植えや収穫体験、収穫した野菜の加工体験などのグリーンツーリズムの促進を図り、首都圏に近い優位性を活かした交流を創出します。

■林業体験の推進

- ・植樹や間伐、枝払いなどの林業体験を楽しむことのできる機会を創出します。

施策4 自転車による観光振興を進めます

■自転車大会の拡充

- ・ふじあざみラインや富士スピードウェイを活用した自転車レースの開催について、関係機関との協力を強化し、参加者の増加を図ります。



ツアーオブジャパンの様子

■新たな自転車大会の開催

- ・富士スピードウェイなどを会場とした新たな自転車大会を開催します。
- ・また、マウンテンバイクに焦点を当て、木材搬出のための路網を活用し、愛好家によるマウンテンバイクコースの開拓、維持、そして大会等イベントの企画運営を促します。

■「サイクリストにやさしいまちづくり」の推進

- ・サイクルインフォメーションセンターの設置(駿河小山駅前の観光案内所の活用)やサイクルベンチ(ベンチとサイクルラックを組み合わせたもの)の設置など、サイクリストに配慮した環境を作ります。

施策5 自衛隊との連携による観光振興を進めます

■自衛隊イベントを通じた町のPR

- ・自衛隊イベントに集まる多くの来訪者に対し、特産品の販売やパンフレットの配布など、町のPRを行います。

■町内イベント等への参加依頼

- ・町内で実施するイベントの充実を図るため、自衛隊車両の展示や、富士学校音楽隊の出演、ボランティア支援など、自衛隊に参加を依頼します。

施策6 観光拠点を活用します

■道の駅の活用

- ・観光客立ち寄りの場として、適切な施設管理を行うとともに、地域活性化に向けた施設の有効利用を推進します。



道の駅 すばしり



道の駅 ふじおやま

■あしがら温泉等の活用

- ・温泉施設として、適切な施設管理を行うとともに、地場産品販売などを通じ、町の魅力を発信します。
- ・須走や北郷にある温泉を観光資源として活用していく方策について、関係者との検討を進めます。

■豊門公園等の活用

- ・国登録有形文化財である豊門会館、西洋館などを擁し、ロケ地としても頻繁に活用されている場所である豊門公園について、適切な管理を行うとともに、イベントの開催など、町のPRに活用します。
- ・また、同じく国登録有形文化財である森村橋の保存と活用について検討します。

施策7 新たな観光スポットを整備します

■ホテルの里づくり

- ・身近な環境の改善により、里山にホテルが飛び交う「ホテルの里」づくりを目指します。

■北郷の森の整備

- ・NPO法人北郷創林隊・町・県の三者が協働して森林管理している北郷の森を活用し、観光振興に結び付けます。

■リゾート宿泊機能の誘致

- ・富士山の抜群な景観と優れた自然環境に囲まれた立地の優位性を活かして、リゾート宿泊機能をもつ施設を誘致します。

■産業観光の提供

- ・町内の企業などの協力を得て、工場見学など産業観光のプログラムを企画、提供します。

施策8 ハイキングコースを活用します

■足柄古道などの活用

- ・歴史的な街道である足柄古道などのハイキングコースを活用し、イベントやガイド付きツアーなどを通じて町内の歴史や自然を楽しむことのできる機会を提供します。



足柄古道

■市町村連携によるハイキングコースの活用

- ・バリエーションのあるハイキングが楽しめるように、隣接した南足柄市、山北町、山中湖村などと連携した広域的なコース設定を行います。

■（仮称）おやま物語 100 選の作成・散策

- ・町内の歴史、郷土資源、観光施設などに関する逸話などの更なる掘り起しにより、多くの物語を集めて、“（仮称）おやま物語”を作成します。
- ・ふるさとの魅力を歩いて楽しむことのできる散策プログラムを提供します。

施策9 ロケ地としての強みを活かし知名度を高めます

■ロケ地の発掘・整備と活用

- ・ロケ地めぐりツアーなどロケ地のPRによる観光振興を図ります。
- ・町内の撮影場所をまとめたマップを作成し、来訪者がロケ地めぐりを楽しめる環境づくりを進めます。
- ・ロケ地を特集した雑誌やインターネットを活用し、町内の撮影場所や撮影秘話などを紹介します。
- ・新たなロケ地の掘り起こしや撮影拠点の整備などを進めます。



古民家でのドラマ撮影の様子

■映画祭の開催

- ・映画祭を開催し町内外に町をPRします。

■ロケの誘致

- ・首都圏からのアクセスの良さ、富士山をはじめとする豊かな自然、田園風景などを活かして、国内外からのロケ誘致を推進します。

■民間組織の設立支援

- ・現在、ロケ誘致は行政で実施していますが、継続的に実施していくためには民間主導が望ましく、その組織設立及び運営に対して支援を行います。

基本方針3

観光インフラ整備プログラム

施策1 シティプロモーションの充実を図ります

■旅行会社への観光資源の紹介

- ・首都圏からの誘客を強化するため、旅行会社、出版会社などへの積極的なプロモーションを展開します。

■首都圏などで開催される展示会への参加

- ・首都圏などで開催される観光や食品などの展示会に町内企業などを募って参加し、町の観光施設や自然環境、宿泊施設、地場産品などをPRします。



2014年台湾観光博覧会の様子

施策2 おもてなし人材による着地型観光を充実します

■観光ガイドの育成

- ・現在観光ガイドとして活躍している方の協力を得て、観光ガイド養成講座を開催して、ガイドを育成し、学ぶ喜び、知る喜びを求める来訪者への対応を充実させます。



ガイド 四季の旅人

■次世代を担う人材の育成

- ・中高生を対象とした観光ワークショップや観光ガイド体験などを通じて、次世代を担う人材を育成します。

■小山町観光検定の実施

- ・観光客をもてなす基礎知識として必要な町の観光資源を学ぶために、小山町観光検定制度を創設し、実施します。

■小山町観光親善大使の認定

- ・小山町観光親善大使を認定し、広く積極的なPR活動を展開します。

施策3 インバウンドへの対応を強化します

■プログラムの開発

- ・外国人観光客に向けた小山町らしさを活かすプログラム・ツアーを開発し、提供します。

■外国人観光客へのおもてなしの充実

- ・外国人観光客に対応するため、外国語の対応ができるガイドの育成を促進します。
- ・宿泊施設、飲食店、物販店、観光ガイドなどを対象として、外国人への接客や外国語を学ぶおもてなしセミナーを開催します。

■外国語表記の充実

- ・宿泊施設、飲食店、物販店などの掲出物、パンフレット、ホームページなどにおいて、外国語表記を充実します。



外国語表記の案内看板

■東京オリンピック・パラリンピックに向けた環境整備

- ・2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催にあたり、多くの外国人が日本を訪れると予想されることから、外国人を迎え入れるための環境整備を進めます。

施策4 観光情報の基盤を整えます

■総合的な観光情報の集約・管理

- ・観光に関する幅広い情報(インターネット・パンフレット等)について集約し、更新などの適切な管理を進めます。

■Wi-Fiスポットの整備

- ・観光客からの要望が多い公衆無線LANサービス「Wi-Fiスポット」の整備を官民協働で推進します。

■ネット予約・決済環境の整備促進

- ・宿泊施設、飲食店、物販店などにおいてネット予約・決済ができる環境整備を促進します。

施策5 観光交通基盤を整備・活用します

■季節運行バスの利便性向上

- ・登山バスやハイキングバスの利便性を高めるため、ルートやダイヤ、停留所位置などの見直しを図ります。

■小山PA/足柄SA周辺の整備

- ・本町の新たな玄関口となる小山PAのSIC周辺において、観光振興につながる土地利用を検討し、宿泊機能や商業機能などの充実に努めます。
- ・足柄SAに開設予定のSIC周辺において、観光振興につながる土地利用を検討します。

■ユニバーサルデザイン化の推進

- ・観光施設や観光周遊ルート上にあるトイレや休憩施設、案内掲示板などについて、ユニバーサルデザイン化を進めます。

施策6 広域連携を推進します

■広域ネットワークによる取り組みの推進

- ・表富士観光キャラバン、国道138号沿線観光広域連携協議会、富士山五口協議会など広域ネットワーク組織による取り組みを強化していきます。

■金太郎にちなんだ交流の活性化

- ・金太郎(坂田金時)にちなんで観光交流をしている、岡山県勝央町や京都府福知山市との連携を継続していきます。

施策7 小山町ブランドの充実を図ります

■ “小山町” をエリアとしてアピール・ブランド化

- ・共通のロゴサインを導入します。
- ・各施設、各行事において統一ロゴを使用します。

■道の駅・足柄SA・小山PAにおける販売促進・PR

- ・道の駅(ふじおやま、すばしり)、足柄SA、小山PAの特産品販売コーナーを設置し、商品のPRを強化します。

■特徴ある商品を育成

- ・農産物や銘菓などの小山町ブランドの充実を図り、さらに、プレミアムブランドを創設し、本町の特色ある産品をPRします。



水かけ菜の漬け物



金太郎トマト



小山町オリジナル商品 (蕎麦焼酎「富士嵐」)

■インターネットを活用した販売促進

- ・商工会のホームページやFacebookなどのSNSを活用して、本町の特産品を全国の方々にPRするとともに、通信販売などの販路拡大を促進します。

■ロケ地を活用した特産品の販売促進

- ・町の特産品をロケ地で使用してもらい、商品の販売促進に活用します。

■ご当地グルメの開発

- ・現在、町にはご当地グルメと呼ばれるものが存在していないため、町内産の食材を活用したメニューを開発し、観光資源の一つとして発信していきます。

第5章 計画推進について

1. 基本的な考え方

- 行政や観光協会のみでなく、各種団体や住民などが協力して、小山町の新たな観光づくりに取り組んでいくことを重視します。
- 観光振興計画の実現に向けて、それぞれの取組みについて、取組んでいく時期についての考え方をもち進めることを重視します。

短期:3年以内に取り組むもの
中期:5年以内に取り組むもの
長期:計画期間内に取り組むもの

- それぞれの取組み主体の努力を重視します。また、各主体間の連携を強化し、目標を共有し、共に力を合わせていく協働の取組みを重視します。
- 事業の実施に際しては、必要に応じて小山町観光推進会議の意見を聴くものとします。

2. 推進体制

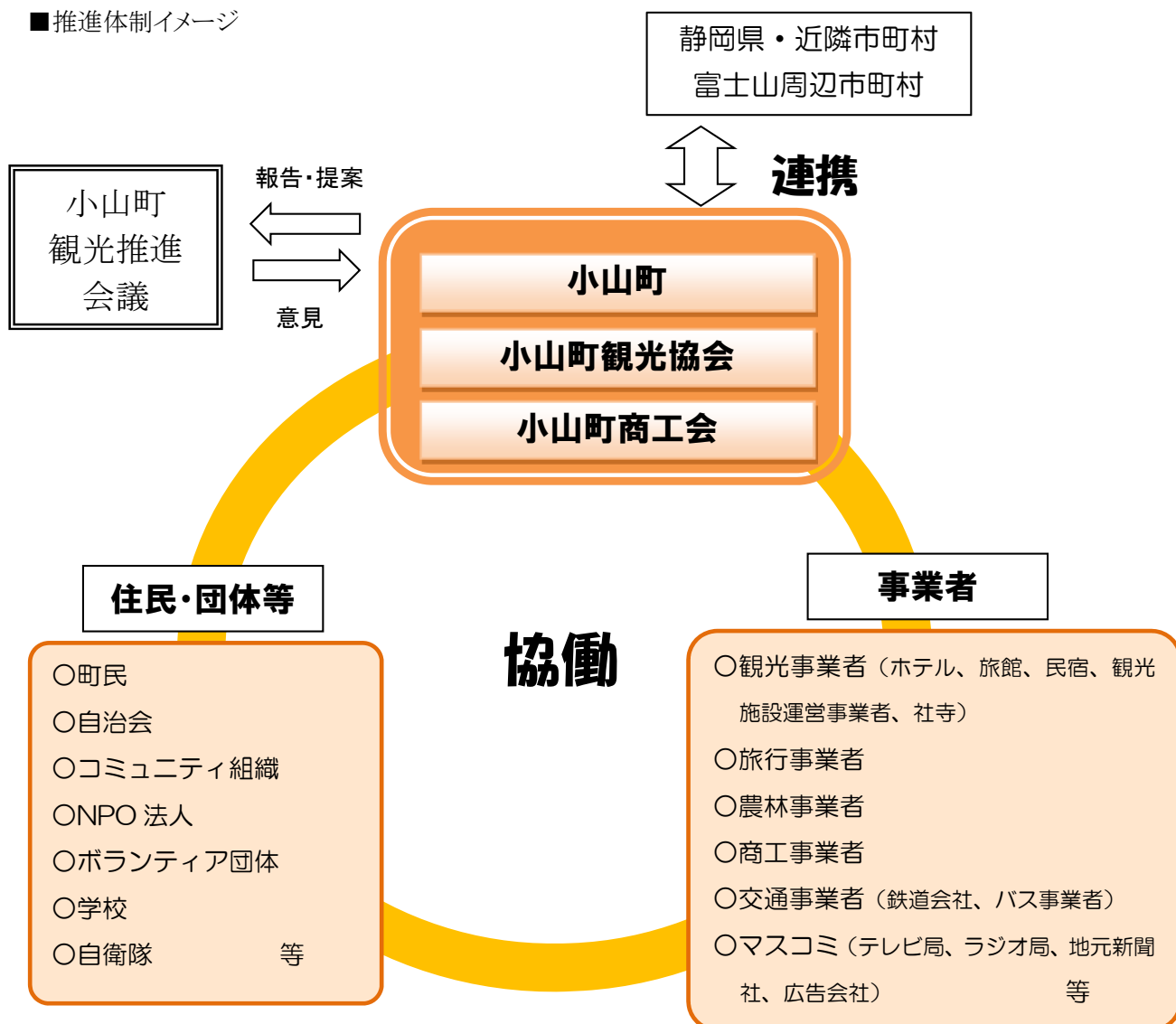
○小山町、小山町観光協会、商工会が中心となって、事業者（観光事業者、旅行事業者、農林事業者、商工事業者、交通事業者、マスコミ など）、住民・団体等（町民、自治会、コミュニティ組織、NP
○法人、ボランティア団体、学校、自衛隊 など）の協力を得て、関係主体の協働体制により、取組みを進めます。

《具体的な協働の場面》

- －観光に携わる関係者同士の情報交換や共有に留意し、協働の基礎を拡充します。
- －地域活動団体と観光関連事業者の協働による新たな旅行商品の開発や販路の拡大
- －農林事業者と民宿、マスコミの協働による新たな民泊商品のモデル的な取組み
- －観光協会とボランティア団体の協働による町内観光資源のメンテナンスイベントに向けた取組み

○静岡県、富士山周辺市町村、近隣市町村（御殿場市、南足柄市、山北町、山中湖村、箱根町など）との連携による取組みを進めます。

■推進体制イメージ



3. プログラム

○計画に記述した取組みについてのプログラムは次のとおりです。

区分:継続(従来施策を継続・拡充して実施) 新規(新規に施策を実施)
 時期:A(短期) B(中期) C(長期)

基本方針	施策	取組み	区分	時期	主体				
					小山町	観光協会	商工会	事業者	住民団体等
富士山交流観光プログラム	須走口五合目を再整備します	(仮称)富士山須走ロビジターセンターの設置	継続	A	○				
		駐車場の整備	継続	A	○				
		整備計画の推進	継続	A	○				
		ふじあざみラインの道路改良の推進	継続	A	○				
	登山者などへの対応を充実します	登山案内及び指導の強化	継続	A	○				
		登山装備サービスの提供	新規	B				○	
		世界遺産案内板の設置	継続	A	○				
		須走ルートの魅力の紹介	継続	A	○	○			○
		須走流登山スタイルの確立	新規	B	○	○			○
	須走口五合目散策コース・富士箱根トレイルを活用します	案内板の設置	新規	B	○	○			○
		散策ツアーの開催	継続	A	○	○			
		富士箱根トレイルの管理	継続	A	○				○
		コースの魅力の情報発信	新規	B	○	○			○
		ガイド付き散策ツアーの開催	継続	A		○			○
		来訪時期や所要時間によるコース設定	継続	B	○	○			○
	富士山の眺望スポットを整備します	富士山眺望スポットの充実	継続	A	○	○			
		案内看板の整備・案内マップの作成	継続	A	○	○			
	富士浅間神社の魅力を高めます	須走地区を富士山観光の拠点としたまちづくり	継続	A	○	○			○
		住民参加による観光地づくり	継続	A	○	○			○
		富士浅間神社へのツアー誘客の強化	継続	A	○	○			
		ボランティアガイドによる案内	継続	A	○	○			○
		富士浅間神社のPR	継続	A	○	○			○
	富士山の環境保全を観光振興につなげます	景観条例の制定	新規	A	○				○
		富士山と調和する景観づくり	新規	C	○				
		富士山における環境学習の場の提供	新規	B	○				○
		マイカー規制の実施	継続	A	○				
		富士山環境ツアーの開催	新規	B	○				
	美化活動を進めます	富士山清掃の実施	継続	A	○				
登山者マナーの向上		継続	A	○	○			○	

基本方針	施策	取組み	区分	時期	主体				
					小山町	観光協会	商工会	事業者	住民団体等
元気にぎわい観光プログラム	金太郎をシンボルとした観光活性化を図ります	金太郎シンボルデザインを活用したPR	継続	A	○	○	○		
		金太郎商品のブランド化	継続	A	○				
		金時公園の活用	継続	B	○				○
		金太郎を活用した広域連携の推進	継続	B	○				○
		相撲大会の開催	新規	A	○	○			
		金太郎伝説ゆかりの地のPR・紹介	継続	A	○	○			
	スポーツによる誘客を進めます	スポーツ大会などの誘致・継続	新規	B	○	○			
		合宿などの誘致	継続	B	○	○			○
		富士スピードウェイとの連携	継続	A	○	○		○	○
	農のある暮らしをにぎわいに活かします	農産物直売所の整備	継続	A	○				○
		農家民泊の試み	新規	C	○				○
		農業体験の推進	継続	A	○				○
		林業体験の推進	新規	B	○				○
	自転車による観光振興を進めます	自転車大会の継続	継続	A	○			○	
		新たな自転車大会の開催	新規	C	○			○	
		「サイクリストにやさしいまちづくり」の推進	新規	A	○			○	○
	自衛隊との連携による観光振興を進めます	自衛隊イベントを通じた町のPR	継続	A	○	○	○		
		町内イベント等への参加依頼	継続	A	○				
	観光拠点を活用します	道の駅の活用	継続	A	○			○	
		あしがら温泉等の活用	継続	A	○			○	
		豊門公園等の活用	継続	A	○				○
	新たな観光スポットを整備します	ホテルの里づくり	新規	B	○				○
		北郷の森の整備	新規	B	○				○
		リゾート宿泊機能の誘致	新規	B	○	○		○	
		産業観光の提供	新規	A	○		○		
	ハイキングコースを活用します	足柄古道などの活用	継続	A	○				○
		市町村連携によるハイキングコースの活用	継続	A	○				
		(仮称) おやま物語 100 選の作成・散策	新規	B	○				○
	ロケ地としての強みを活かし知名度を高めます	ロケ地の発掘・整備と活用	継続	A	○				○
		映画祭の開催	継続	A	○	○	○		
		ロケの誘致	継続	A	○				○
		民間組織の設立支援	新規	B	○				○

基本方針	施策	取組み	区分	時期	主体				
					小山町	観光協会	商工会	事業者	住民団体等
観光インフラ整備プログラム	シティプロモーションの充実を図ります	旅行会社への観光資源の紹介	継続	A	○	○	○		
		首都圏などで開催される展示会への参加	継続	A	○	○	○		
	おもてなし人材による着地型観光を充実します	観光ガイドの育成	継続	A		○			○
		次世代を担う人材の育成	継続	A	○	○			○
		小山町観光検定の実施	新規	B		○			
		小山町観光親善大使の認定	新規	A	○				
	インバウンドへの対応を強化します	プログラムの開発	新規	B		○		○	○
		外国人観光客へのおもてなしの充実	新規	B	○	○		○	
		外国語表記の充実	継続	A	○		○	○	
		東京オリンピック・パラリンピックに向けた環境整備	新規	B	○				
	観光情報の基盤を整えます	総合的な観光情報の集約・管理	新規	A	○	○			
		Wi-Fiスポットの整備	継続	A	○			○	
		ネット予約・決済環境の整備促進	新規	C	○	○	○	○	
	観光交通基盤を整備・活用します	季節運行バスの利便性向上	継続	B	○			○	
		小山PA/足柄SA周辺の整備	新規	B	○				
		ユニバーサルデザイン化の推進	継続	A	○				
	広域連携を推進します	広域ネットワークによる取り組みの推進	継続	A	○	○			
		金太郎にちなんだ交流の活性化	継続	A	○	○			
	小山町ブランドの充実を図ります	“小山町”をエリアとしてアピール・ブランド化	新規	B	○	○	○		
		道の駅・足柄SA・小山PAにおける販売促進・PR	継続	A	○		○		
		特徴ある商品を育成	継続	A	○		○		
		インターネットを活用した販売促進	新規	A	○		○		○
		ロケ地を活用した特産品の販売促進	新規	A	○		○		
ご当地グルメの開発		新規	B	○		○			

小山町役場 経済建設部 商工観光課
〒410-1395 静岡県駿東郡小山町藤曲 57-2
Tel:0550-76-6114 Fax:0550-76-2795
Mail:kankou@fuji-oyama.jp